

高齢者会館入退館管理システムの実証実験について

1 目的

中野区における高齢者会館は、高齢者の地域での交流や自主的な活動の促進を図るほか、高齢者が健康で充実した生活を送れるよう、健康づくりや介護予防事業の身近な地域の拠点であり、高齢者人口の増加や健康寿命の延伸に対応するため、高齢者会館のあり方や介護予防のための施策等の検討が必要となっている。

高齢者会館の入館の際に提示する登録証（紙）のカード化や利用状況の把握について、現在の会館の延べ利用人数や各種の事業ごとの参加者数の実績に加え、新たに利用者実人員数や事業の利用実態等の把握を行うため、試行的な取り組みとして、次のとおり、実証実験を実施した。

2 実証実験のねらい

- (1) 登録証（紙）のカード化
- (2) 利用者の居住地区、性別、年齢層、利用頻度等のデータ収集と分析
- (3) 入退館の記録と家族等へのメール配信
- (4) 高齢者にとっての機器の操作性の確認

3 実施内容

(1) 委託事業者

株式会社 NTTドコモ 東京支店

(2) データの収集方法

利用者にバーコード付きカードを配付するとともに、利用者情報を会場に設置するタブレットに登録する。

来館・退館時及び各種の事業の参加時に、バーコードリーダーで、カードを読み取ることによって、データを収集する。

(3) 収集データ

- 施設入退館情報（入館時・退館時に記録）
- 事業参加状況（事業参加ごとに記録）
- 事前登録情報 住所(町丁目)・氏名・年齢(年代)・性別

(4) 実施会場及び期間

東山高齢者会館

2019年7月23日～9月30日

鷺宮高齢者会館

2019年8月7日～9月30日

4 実施結果

今後、利用者アンケートの集計、収集データの分析等を行い、システム導入について検討を行う。実証実験の実施結果については、第4回定例会において報告する。